ダイオキシン類 基準値を超えるも公表せず

環境経済委員会で真相究明

昨年の八月に発覚した東大阪都市清掃施設組合の新工場建設に伴う土壌調査の中で、環境基準値を超えるダイオキシンなどの有害物質が検出された問題について、これまで第二回定例会及び二度にわたる閉会中の環境経済常任委員会で審査を行いました。

環境基準値を超えるダイオキシン類が検出された三八水路

―安全確保への強い指摘―

汚染が確認された新工場建設予定地は、旧焼却施設の跡地であり、当時使用していた電気集塵機から漏れたことが原因ではないかと推測されています。

市は現在この土地は既に覆土及び舗装がされており、土壌汚染対策法の措置方法の基準を満たしているため、人が暴露することはないとしていますが、委員からは、法律だけを根拠に本当に安全を確保できるのか、何十年後に染み出す可能性などを考えると完全に除去する方法が望ましいのではないか、今後の対応について、市としてのルール作りの必要性があるなどの質問や指摘がありました。

―三八水路よりダイオキシン類が検出（環境基準の十倍）―

また七月十一日には、以前より委員から調査の必要性が指摘されてきた施設組合に隣接する三八（さんぱち）水路の調査の結果、環境基準値の最大十倍にあたるダイオキシン類が検出されたと発表されました。三八水路は農業用水としても使用されており、農作物への影響、そして農作物から人体への影響につながるのではないかと懸念されましたが、その影響について市は、米・野菜などの摂取による人への被害はないと説明していました。しかし、ダイオキシンは水に溶けにくいとされる古い文献に基づくもので、可能性は完全に否定できないとの指摘がありました。

また、三八水路はコンクリートの側壁で遮断されているため、地下水の漏出は考えられず、施設組合敷地内のダイオキシン汚染との関連性はないとしていますが、汚染源の特定のために、早急に追加調査を実施し、正確に全容を把握するよう強く求めました。

東大阪都市清掃施設組合の新工場建設予定地

―環境基準を超える事実を公表せず―

さらに五月三十一日これら基準値を超えている事実を知りながら、七月十一日まで公表されませんでした。

また市民の代表である議会への報告も一切なされなかったことは、意図的に隠していたと思われ、看過できるものではありません。

今後においては、問題の重大性・重要性を認識し、速やかにその事実を正直に、市民へ公表し、議会へ報告するよう厳しく指摘しました。

議案の会派態度表（第２回臨時会）

（○賛成　×反対）

会派名・議員名	公明党												真正議員団								共産党								自由民主党								民主さわやか風		民主リベラル荊政会		さきがけ		民主党東大阪	
議案名	松尾武	広岡賀代子	江田輝樹	新留みつえ	菱田英継	山崎毅海	西田和彦	江越正一	東口まち子	川光英士	平田正造	田中康升	鳥居善太郎	河野啓一	天野高夫	冨山勝成	佐野寛	織田誠	上野欽示	浅川健造	大辻二三一	浅野耕世	三輪秀一	上原賢作	嶋倉久美子	塩田清人	長岡嘉一	秋月秀夫	浜正幸	内海公仁	樽本丞史	岡修一郎	松井保博	田口義明	藤木光裕	大野一博	藤本卓司	木村正治	松平要	飯田芳春	松嶋晃	寺田広昭	中西進泰	鳴戸鉄哉	笹谷勇介
議員定数条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠席	○	○

※大会派順・議席順